

# ユニバーサルデザイン

の視点を取り入れた

## 中学校の道徳の授業 モデル例



どの生徒も人間としての生き方  
についての考えを深めるために

道徳教育  
廿日市市立廿日市中学校  
大原 佳子

# ユニバーサルデザインの視点を取り入れた道徳の授業モデルを活用するために

## 1 本研究におけるユニバーサルデザインの視点

小貫悟（2016）が図1のように示した「授業のユニバーサルデザイン化モデル」<sup>(1)</sup>や「広島県教育資料」（平成30年）のユニバーサルデザインの授業モデル、桂聖（2016）、坂本哲彦（2014）らの文献を基に、本研究では、中学校の道徳の授業で想定されるつまずきに対応するユニバーサルデザインの視点等を表1のように整理した。

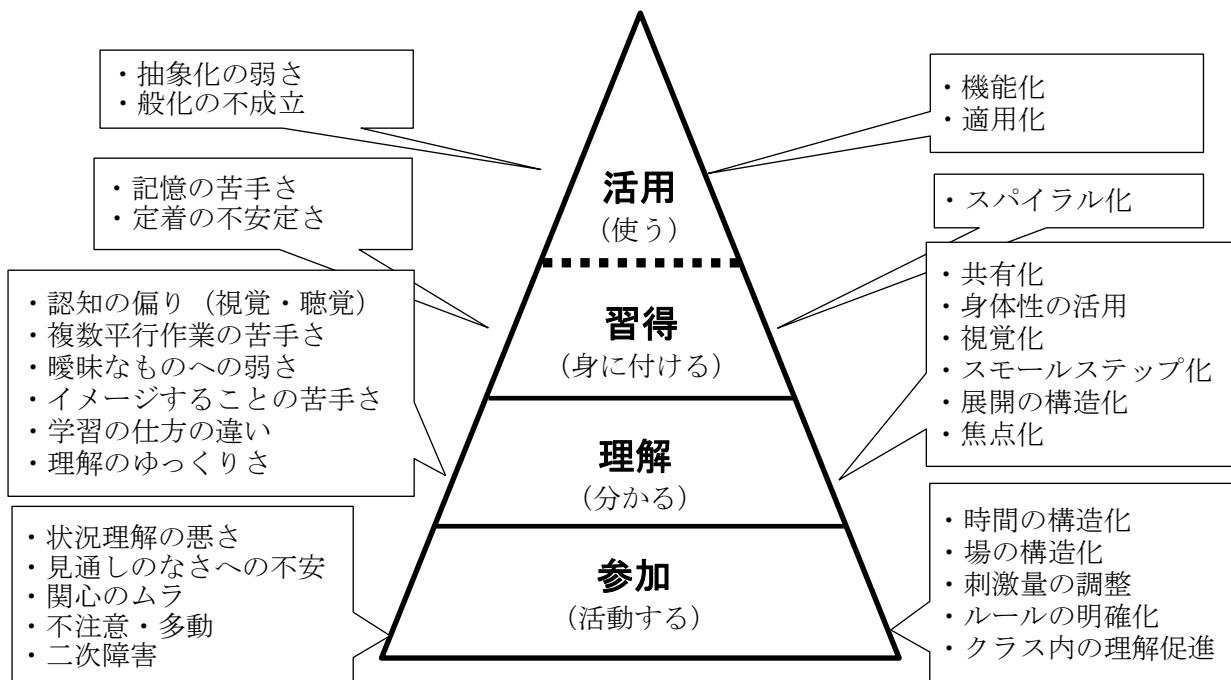
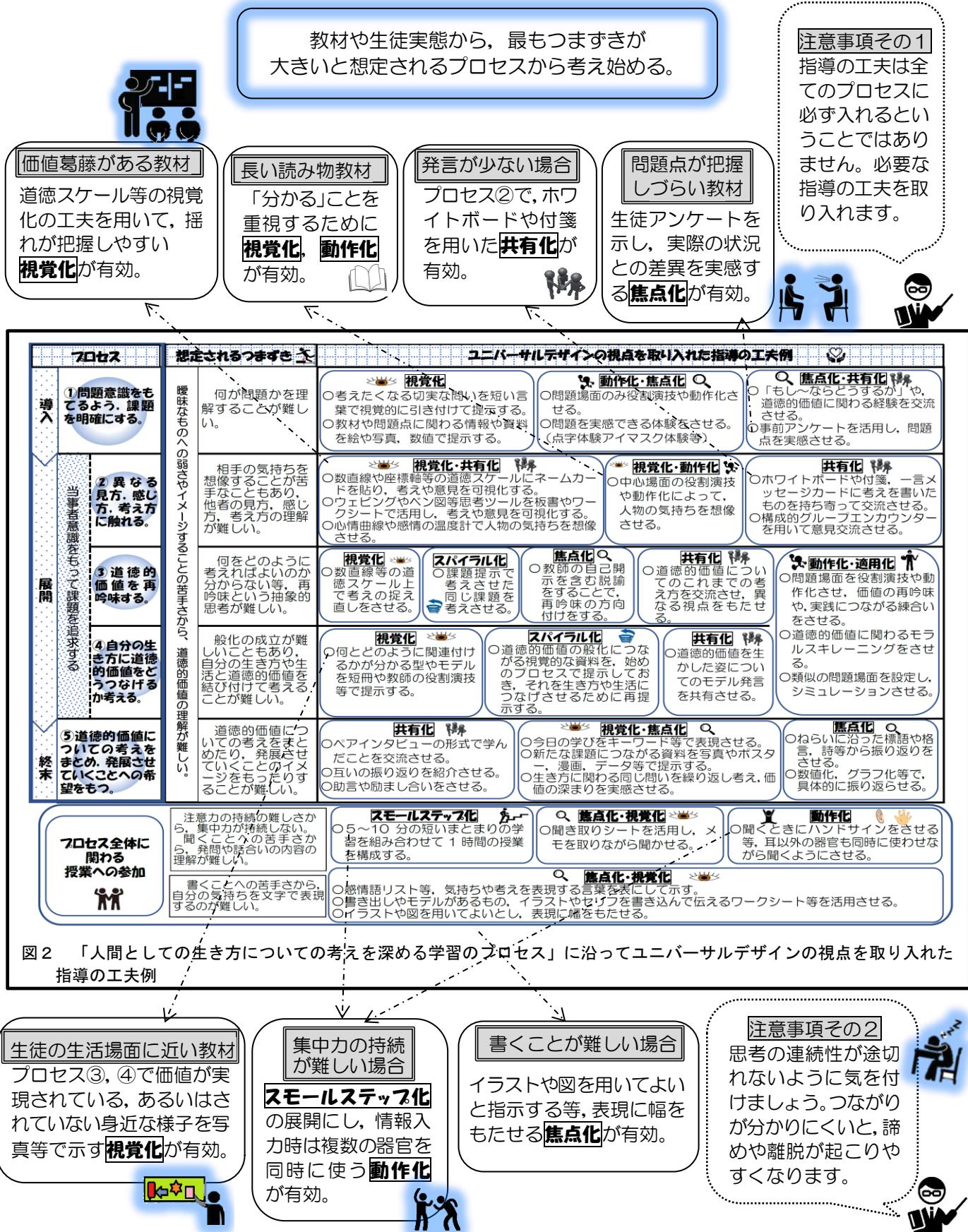


表1 「プロセス」で想定されるつまずきに対応するユニバーサルデザインの視点等

視点	指導・支援
焦点化	授業のねらい、学習内容、発問を絞り込み、何を学ぶか、何を考えるか方向付けをより具体的にすること。
視覚化	視覚的な手掛けかりを効果的に活用し、興味・関心、理解、思考、話合い等の活性化、見える化を図ること。
共有化	ペアやグループ、全体による話合い学習等で、考え方等を共有し、理解を深めさせること。
動作化	身体を使わせることで、学習内容や、抽象的な道徳的価値や心情等への理解を深めさせること。
展開の構造化	授業の進め方、何をどのようなタイミングでどうつなげるか等、授業の展開を論理的に構成すること。
スマールステップ化	目標達成までに細やかな段階をつくり、目標に到達しやすくさせること。
スパイラル化	前のプロセスで考えたり理解したりしたこと、後のプロセスで生かし、考えを深めさせたり、理解を定着させたりすること。
適用化	前のプロセスで理解を深めた道徳的価値を、他の場面や生活につなげて考えさせること。

## 2 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の工夫例とその用い方

表1や、参考文献の様々な取組例、本研究の実践結果を基に、「人間としての生き方についての考えを深める学習のプロセス」に沿ってユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の工夫例として図2のように整理した。後に示す「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた道徳の授業モデル」は、この図に基づいて作成したものである。



## ユニバーサルデザインの視点を取り入れた道徳の授業モデル①

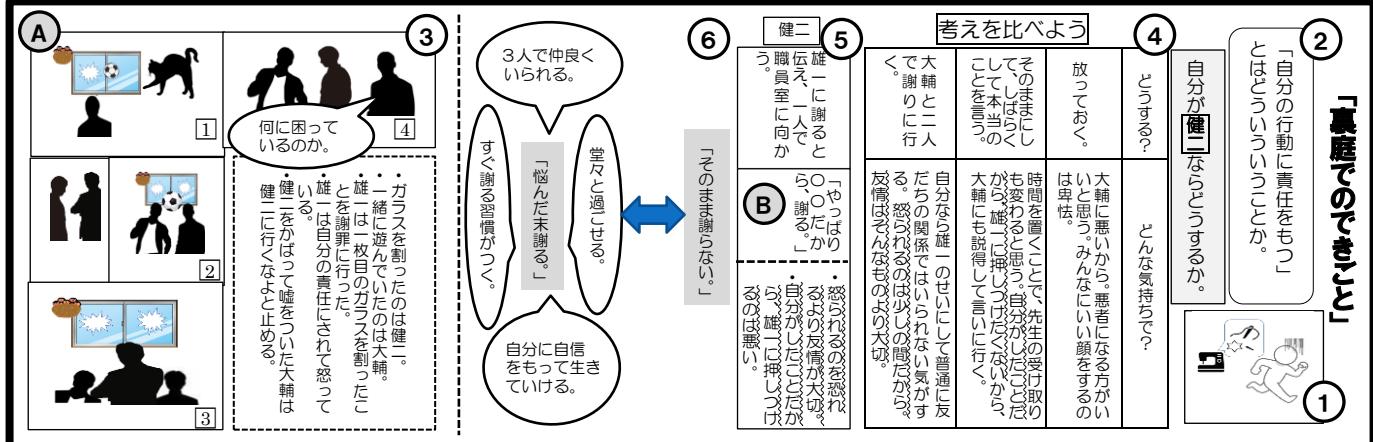
【第1学年】

主題名	自主的な判断をし、結果に責任をもつ（A 自主、自律、自由と責任）
教材名	裏庭でのできごと
出典	中学生の道徳1「自分を見つめる」廣済堂あかつき
ねらい	自分で判断し、結果に責任をもつことが自信をもって生きることにつながることを理解し、どのような場合でも自分で判断し、結果に責任をもとうとする態度を育てる。

### 【学習指導過程モデル】

プロセス		想定される つまずきの声	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の主な発問例（○基本発問、●中心発問）
当事者意識をもって課題を追求する	①問題意識をもてるよう、課題を明確にする。	何がどう問題なんだろう？	○先生は、中学校のとき、家庭科の課題の途中でミシン針を折り、そのまま逃げたことがばれて、怒られたことがあります。（視覚化）① ○当時の先生にアドバイスするなら、何と言いますか。自分の責任で「失敗」したとき、どう考えてどう行動することが大切だと思いますか。（焦点化） ○今日のテーマです。（視覚化・焦点化）②
	②異なる見方感じ方・考え方方に触れる。	気持ちや考えは見えないから分かりづらい。	○健二が何に困っているか、絵を見ながら考えましょう。（視覚化・共有化）③ ○自分が健二ならどうするか。それはどんな気持ちからか。ワークシートに書いて、4人グループで交流しましょう。（視覚化・共有化）④
	③道徳的価値を再吟味する。	何をどう考えていいか分からなない。	○大輔との友情や、今さら先生にいい顔をするのは卑怯等、それぞれ考えが異なるので、本当のことを言う必要はないのでしょうか。（焦点化） ○健二はどういう気持ちでこの選択をしたのでしょうか。黒板の意見を踏まえると「〇〇」にどんな言葉が入ると思いますか。（焦点化）⑤
	④自分の生き方に道徳的価値をどうつなげるか考える。	急に自分の生活に戻して考えるよう言われると、ついでいけない。	●健二にとって、「悩んだ末謝る。」という選択をしたことは、謝らなかったことと比べてこの後の健二にどのような影響があると思いますか。「そのまま謝らない健二」を演じるので、その後の違いをイメージしてください。（視覚化）⑥ ○始めの話のように、先生は後で「人として許せない。」と叱られ、それから、失敗したとき必ず逃げないことを心掛けています。皆も失敗から逃げなかつた経験はありませんか。（スパイラル化）
	⑤道徳的価値についての考えをまとめ、発展させていくことへの希望をもつ。	考えをまとめるのは苦手。発展させているイメージが浮かばない。	○オバマ前大統領の言葉を紹介します。「人からこう言われるのが望みです。『彼は完璧ではないが、自分のミスを潔く認めるし、できるだけ早く直そうとする』と。」皆はどう言われる人でありたいでしょうか。（焦点化）
プロセス全体に 関わる 授業への参加	一度聞いただけでは状況が分かりにくい。書くのが苦手だから負担。	○三人の状況を絵で振り返りましょう。（視覚化）A ○「〇〇」に入る言葉を考えて書きましょう。（視覚化・焦点化）B	

### 【板書モデル】



## ユニバーサルデザインの視点を取り入れた道徳の授業モデル②

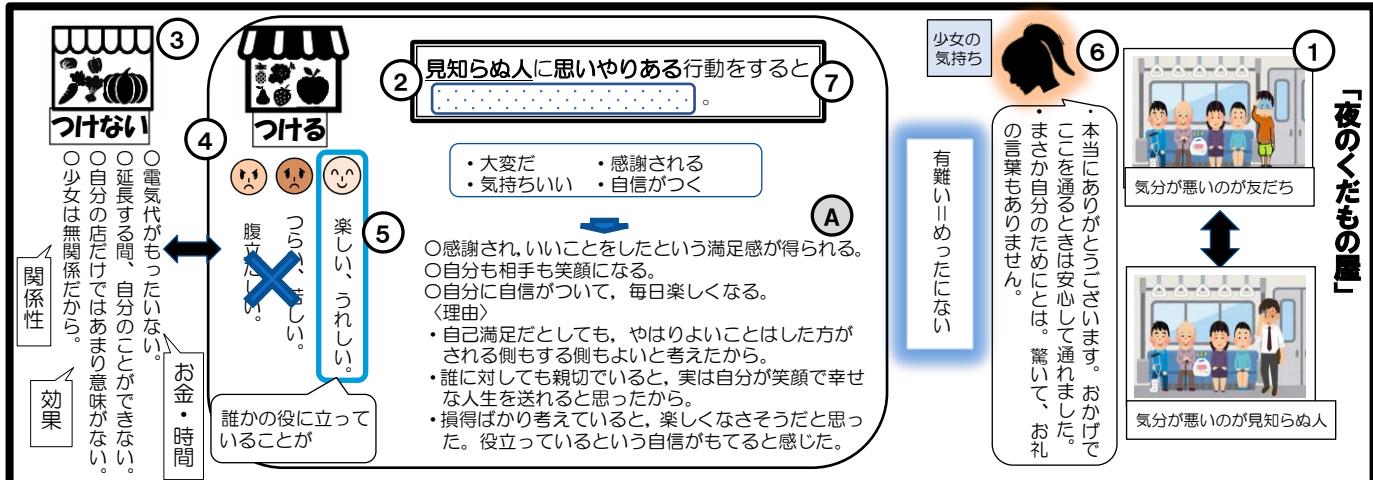
【第1学年】

主題名	心のあたたかさ (B 思いやり)
教材名	夜のくだもの屋
出典	中学生の道徳1「自分を見つめる」廣済堂あかつき
ねらい	人間関係の濃淡を越えて全ての人に思いやりをもって接することの尊さと難しさを理解し、自分の日頃の過ごし方やこれから生き方につなげて考え方を深め、誰に対しても思いやりをもって接していくこうとする実践意欲を育てる。

### 【学習指導過程モデル】

プロセス	想定される つまづきの声	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の主な発問例(○基本発問 ●中心発問) 🌟
①問題意識をもてるよう、課題を明確にする。	何がどう問題なんだろう?	○電車の中で自分は座っています。立っている友だちが気分が悪くなりました。席を譲りますか?では、見知らぬ人の場合はどうですか? (視覚化) ①
当事者意識をもって課題を追求する	気持ちや考えは見えないから分かりづらい。	○見知らぬ人に同じようにできる人が少ないのはなぜでしょうか。 ○テーマの口に、皆さんならどんな言葉を入れますか。 (焦点化・視覚化) ②
③道徳的価値を再吟味する。	何をどう考えていいか分からなさい。	○あかりをつけない八百屋夫婦がいるとします。あかりをつけるくだもの屋夫婦と何が違うかペアで役割演技をして考えましょう。 (動作化) ③ ○自分はどちらの気持ちに共感できますか。それはなぜでしょうか。 (視覚化・共有化) ④
④自分の生き方に道徳的価値をどうつなげるか考える。	急に自分の生活を出されたら、思考が途切れます。	○くだもの屋の夫婦は見返りがない親切を、どのような気持ちで続けているのでしょうか。表情絵の三択です。 (視覚化) ⑤ ○では、夫婦は何が楽しく、うれしいのでしょうか。 ○親切にされた少女は夫婦にどう感じたのでしょうか。 (焦点化) ⑥
⑤道徳的価値についての考えをまとめ、発展させていくことへの希望をもつ。	考えをまとめるのは苦手。発展させているイメージが浮かない。	○少女のように、見知らぬ人に親切にされた経験はありますか。最初のような席を譲られた、譲る人を見たでもよいです。どう思いましたか。 (焦点化・スパイラル化) ●再度「見知らぬ人を思いやる行動をすると○」に考えを書き、どうしてそう考えたか理由も書きましょう。 (スパイラル化・焦点化) ⑦
プロセス全体に 関わる 授業への参加	一度聞いただけでは状況が分かりにくい。書くのが苦手だから負担。	○隣の人にどう考えたか、理由も合わせて説明しましょう。 (共有化) ○見知らぬ人に席を譲るシミュレーションをしましょう。声の掛け方を考え、ペアで役割演技してみましょう。 (動作化・共有化)

### 【板書モデル】



### ユニバーサルデザインの視点を取り入れた道徳の授業モデル③

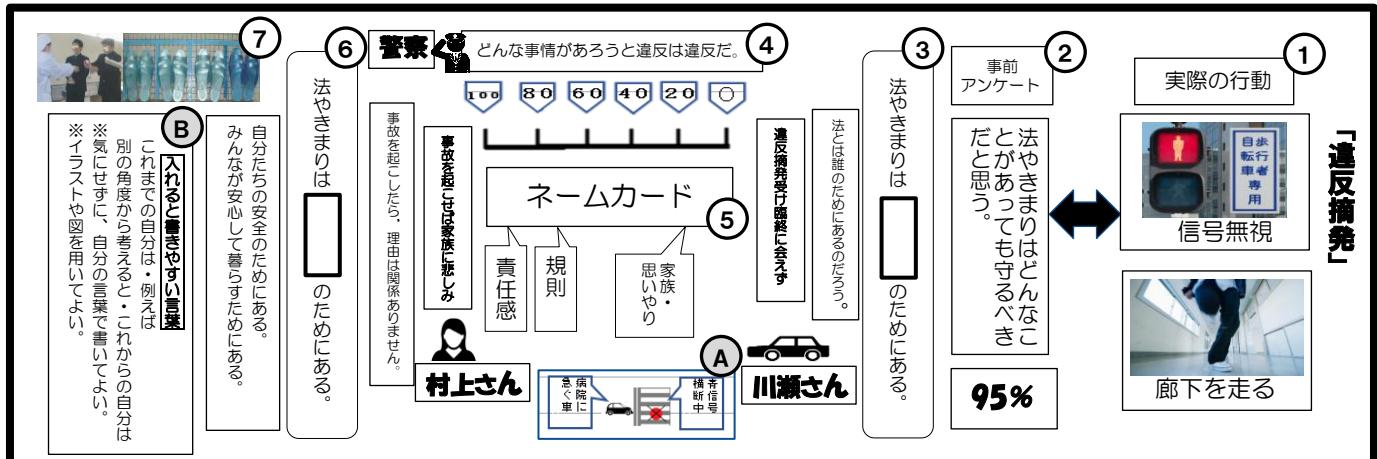
【第1学年】

主題名	法やきまりを守ること (C 遵法精神)
教材名	違反摘発
出典	「違反摘発臨終に会えず」朝日新聞2003年1月25日、「事故を起こせば家族に悲しみ」朝日新聞2003年1月31日
ねらい	法やきまりは人々の生活や権利を守るためにあることを理解し、一人一人が遵法精神をもつて日々の生活を過ごすことでよりよい社会を実現しようとする態度を育てる。

#### 【学習指導過程モデル】

プロセス	想定される つまずきの声	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の主な発問例(○基本発問 ●中心発問) 🌟
①問題意識をもてるよう、課題を明確にする。	何がどう問題なんだろう?	○よく見る光景です。このようなことをしたことがありますか。(視覚化) ①
②異なる見方感じ方・考え方につぶれる。	気持ちや考えは見えないから分かりづらい。	○事前アンケートはこうです。実際とは差がありますね。なぜ法やきまりが大切か、本当は分かっていないのではどうか。(視覚化) ②
③道徳的価値を再吟味する。	何をどう考えていいか分からなない。	○そこで今日のテーマです。(視覚化・焦点化) ③
④自分の生き方に道徳的価値をどうつなげか考える。	法やきまりと自分の生活と結び付けて考えられない。	○警察の言葉への納得度を数直線で表し、黒板にネームカードを貼りましょう。なぜその数値にしたのか、理由を教えてください。(視覚化) ④
⑤道徳的価値についての考えをまとめ、発展させていくことへの希望をもつ。	考えをまとめるのは苦手。発展させているイメージが浮かばない。	○この数値の違いは大切にしているものの違いといえます。それでは、何を大切にしているのでしょうか。(視覚化・共有化) ⑤
プロセス全体に関わる授業への参加	一度聞いただけでは状況が分かりにくい。書くのが苦手だから負担。	○村上さんの話を聞き、再度、数直線で納得度を考えましょう。(視覚化)
		○法やきまりは何のためにあるか、口に考えを書きましょう。(視覚化) ⑥
		○始めて見た廊下を走る写真をもう一度見てください。みんなの身近にあるさりげない校則は、何のためにあるのでしょうか。(スパイラル化・視覚化)
		●数年後は成人式を迎える、法に責任がある大人になります。希望ある未来のために、これから法やきまりとどう向き合っていきますか。(焦点化)
		○日頃、学校できまりが守られている様子です。給食前の手洗いやトイレのスリッパの向き、朝会の時間厳守等。(視覚化・適用化) ⑦
		○ワークシートに記述したことを基に、法やきまりについて考えたことを隣の人に話しましょう。聞いた人は感想を一言伝えましょう。(共有化)

#### 【板書モデル】



## ユニバーサルデザインの視点を取り入れた道徳の授業モデル④

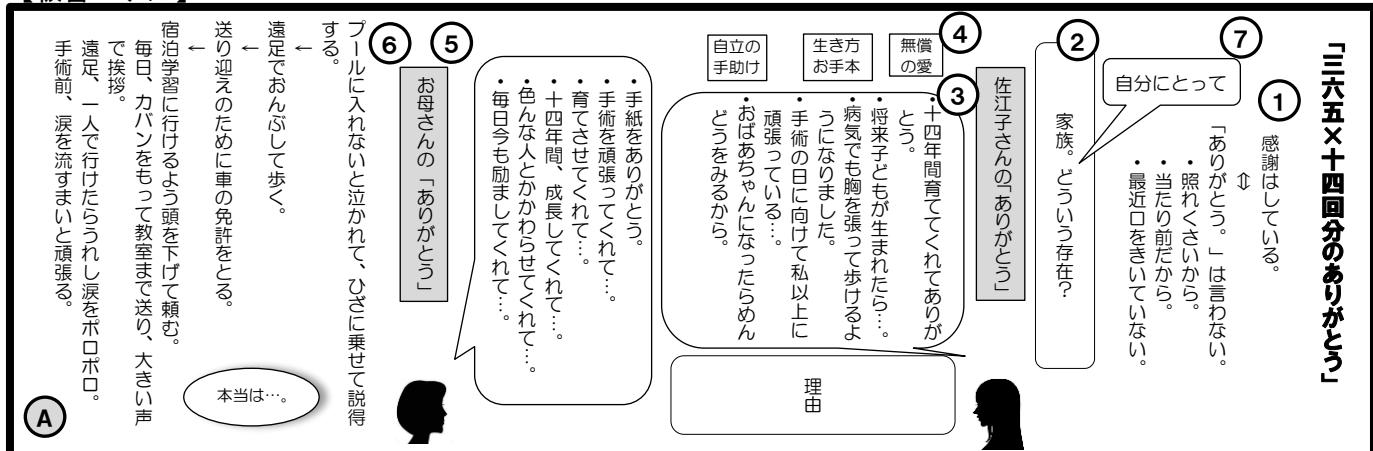
【第2学年】

主題名	家族への感謝 (C 家族愛)
教材名	365×14回分のありがとう
出典	中学生の道徳1 「自分を見つめる」 廣済堂あかつき
ねらい	自分の成長を願い、育ててくれている家族の無私の愛情の深さ、すばらしさを理解し、自身も家族にとってかけがえのない存在として感謝と愛情をもって接していくこうとする心情を育てる。

### 【学習指導過程モデル】

プロセス	想定される つまづきの声	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の主な発問例(○基本発問 ●中心発問)♡
①問題意識をもてるよう、課題を明確にする。	何がどう問題なんだろう?	○「365×14回分のありがとう」この数字は何を表していると考えますか。(視覚化)
②異なる見方感じ方・考え方につれる。	気持ちや考えは見えないから分かりづらい。	○「家族に感謝をしている。」人は多いですが「毎日ありがとう。」と言っている人は少ない。なぜでしょうか。(焦点化)①
③道徳的価値を再吟味する。	何をどう考えていいか分からなさい。	○今日のテーマです。「家族。どういう存在?」(視覚化・焦点化)②
④自分の生き方に道徳的価値をどうつなげか考える。	どうやって自分の生き方に結び付ければいいか分からなさい。	○佐江子さんの手紙で心に残ったメッセージを一つ選び、なぜ心に残ったか理由を教えてください。(視覚化・共有化)③
⑤道徳的価値についての考えをまとめ、発展させていくことへの希望をもつ。	考えをまとめるのは苦手。発展させていくイメージが浮かばない。	○どんなことに感謝をしているのでしょうか。(視覚化・共有化)④
プロセス全体に関わる授業への参加	一度聞いただけでは状況が分かりにくい。書くのが苦手だから負担。	○お母さんの側から考えましょう。お母さんは何にありがとうと言っているのだと思いますか。(焦点化)⑤
		○お母さんのこれまでの行動を見ましょう。お母さんはその時々で、「本当は」どんな気持ちだったと思いますか?(視覚化・焦点化)⑥
		○泣きたい、毎日苦しいというのがお母さんの本当の気持ちだとしたら、なぜこのような行動を続けられたと考えますか。お母さんにとって、佐江子さんはどんな存在といえますか。(焦点化)
		●改めて「家族。自分にとってどういう存在?」(スパイラル化)⑦
		○今日の授業のキーワードは何だと考えますか。ペアで相談して発表してください。(共有化)
		○今日の授業で考えたことを「いのちの歌」を聴きながらまとめましょう。(焦点化)
		○行動の理由とそのときの気持ちを合わせて考えてみましょう。(スマールステップ化)
		○今日のキーワードを用いると書きやすいですよ。(視覚化・焦点化)

### 【板書モデル】



## ユニバーサルデザインの視点を取り入れた道徳の授業モデル⑤

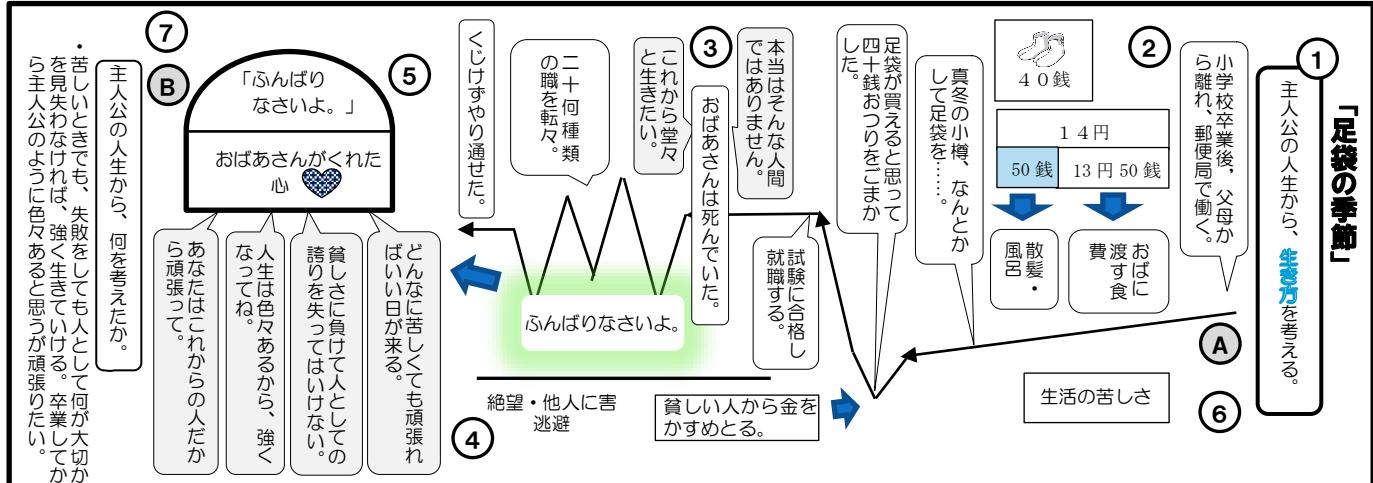
【第3学年】

主題名	良心に恥じない生き方 (D よりよく生きる喜び)
教材名	足袋の季節
出典	中学生の道徳2「自分を考える」廣済堂あかつき
ねらい	人間には、自らの弱さを克服し、気高く生きようとする心があることの素晴らしさを理解し、自分も良心に恥じない生き方をしようとする態度を育てる。

### 【学習指導過程モデル】

プロセス		想定される つまずきの声	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の主な発問例(○基本発問, ●中心発問)
当事者意識をもって課題を追求する	①問題意識をもてるよう、課題を明確にする。	何がどう問題なんだろう?	○こんなとき、どうしますか。「あ、おつりが多い。もう店を出たし、店員さん、気付いていないんだ。どうしよう。」1返す 2そのまま 3後日返す(視覚化)
	②異なる見方感じ方・考え方方に触れる。	気持ちや考えは見えないから分かりづらい。	○今日は、13歳で「おつり」に関わる出来事が、その後の生き方につながったという実際の話を読みます。 ○もうすぐ卒業する皆さんと一緒に考えたいテーマです。(焦点化) ①
	③道徳的価値を再吟味する。	何をどう考えていいか分からなない。	○主人公の人生をグラフで見ていきます。(視覚化・スマールステップ化) ② ○主人公は気付かれているかどうか分からないのに、何を伝えたくて謝罪を行ったのでしょうか。「ごめんなさい、本当は…。」に続く言葉を考えて発表しましょう。(焦点化) ③
	④自分の生き方に道徳的価値をどうつなげるか考える。	どうやって自分の生き方に結び付ければいいか分からない。	○おばあさんの「ふんぱりなさいよ。」がなければ、主人公はどうなっていたと思っているのでしょうか。(視覚化) ④ ●おばあさんがくれた心とは何だと思いますか。クラゲチャートに記入して、4人グループで集まり、考えを出し合いましょう。(共有化・視覚化) ⑤
	⑤道徳的価値についての考えをまとめ、発展させていくことへの希望をもつ。	考えをまとめるのは苦手。発展させているイメージが浮かばない。	○もしも、今、主人公がおばあさんに再会したら、どのような言葉を掛けると思いますか。「実は、あれから…。」に続く言葉を考えましょう。(焦点化・スピラル化) ○考えた言葉を隣同士で交流しましょう。このとき、主人公役とおばあさん役になり、おばあさん役は、掛けられた言葉に応じて一言返すよう、役割演技をしながら交流しましょう。(動作化)
プロセス全体に 関わる 授業への参加		一度聞いただけでは状況が分かりにくい。書くのが苦手だから負担。	○主人公の人生から、生き方を考えるのが今日のテーマでした。主人公の人生を黒板を見ながら振り返りましょう。(視覚化) ⑥ ○主人公は、おばあさんがくれた心を今度は誰かにさしあげなければならぬと考えています。皆さんは主人公の人生から、何を考えたでしょうか。自分の生き方につなげて考えたことを書きましょう。(焦点化) ⑦

### 【板書モデル】



## 論文・資料の参考文献一覧

### 【注】

(1) 「授業のユニバーサルデザイン化モデル」は、小貫悟  
(2016) : 「授業のUD化モデル」桂聖・日本授業UD学会『授業のユニバーサルデザインVol. 8』東洋館出版p. 10  
に詳しい。

### 【参考文献】

- 文部科学省 (平成30年) : 『中学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説特別の教科道徳編』教育出版
- 田沼茂紀 (2017) : 『指導と評価の一体化を実現する道徳科カリキュラム・中学校編』学事出版
- 坂本哲彦 (2018) : 『「分けて比べる」道徳科授業』東洋館出版
- 赤堀博行 (2016) : 『これからの中学校道徳教育と「道徳科」の展望』東洋館出版
- 柴原弘志 (2016) : 『中学校新学習指導要領の展開特別の教科道徳編』明治図書出版
- 柳沼良太 (2016) : 『問題解決的な学習で創る道徳授業超入門』明治図書出版
- 赤堀博行 (2017) : 『子どもを幸せにする「道徳科」』小学館
- 永田繁雄 (2018) : 『「教科としての道徳」の考え方と評価のポイント』『総合教育技術 6月号』小学館
- 田沼茂紀 (2018) : 『道徳科授業のネタ&アイデア100中学校編』明治図書出版
- 広島県教育委員会 (平成30年) : 『広島県教育資料』
- 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 (平成24年) : 『通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について』  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shoutou/tokubetu/material/\\_ics\\_Files/afieldfile/2012/12/10/1328729\\_01.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/shoutou/tokubetu/material/_ics_Files/afieldfile/2012/12/10/1328729_01.pdf)
- 涌井恵 (2017) : 『全員が楽しく学び合い「分かる・できる」授業をめざして』『特別支援教育研究 2月号』東洋館出版
- 佐藤慎二 (2015) : 『実践 通常学級ユニバーサルデザインⅡ 授業づくりのポイントと保護者との連携』東洋館出版
- 小貫悟 (2014) : 『授業のユニバーサルデザイン入門ー子どもの最も楽しく「わかる・できる」授業のつくり方』東洋館出版
- 三宮真智子 (2006) : 『メタ認知』北大路書房
- 道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議 (平成28年) : 『「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告)』
- 増田謙太郎 (2018) : 『ユニバーサルデザインの視点で道徳授業をチェンジ』『道徳教育 1月号』明治図書出版
- 桂聖 (2016) : 『焦点化・視覚化・共有化』桂聖・日本授業UD学会『授業のユニバーサルデザインVol. 8』東洋館出版
- 諸富祥彦 (2016) : 『中学校すぐできる“とびつきり”の道徳授業2ワークシートでできる「道徳科」授業プラン』明治図書出版
- 本田恵子 (2014) : 『脳科学を活かした授業改善のポイントと実践例』梧桐書院
- 阿部利彦 (2015) : 『通常学級のユニバーサルデザインプランzero 2』東洋館出版
- 増田謙太郎 (2017) : 『ユニバーサルデザインの視点で道徳授業をチェンジ』『道徳教育 12月号』明治図書出版
- 坂本哲彦 (2014) : 『道徳授業のユニバーサルデザイン全員が楽しく「考える・分かる」道徳授業づくり』東洋館出版
- 涌井恵 (2015) : 『学び方にはコツがある! その子にあった学び方支援』明治図書出版
- 上地完治 (2016) : 『道徳授業における話し合い活動の意味を考える』『道徳教育 1月号』明治図書出版
- 桂聖 (2010) : 『「全員参加」を促す指導技術』『授業のユニバーサルデザイン研究会・桂聖・廣瀬由美子『授業のユニバーサルデザインVol. 2』東洋館出版
- 土田雄一 (2018) : 『指導バリエーションの特徴をふまえた効果的活用を!』『道徳教育 2月号』明治図書出版
- 川上康則 (2010) : 『「発達のつまずき」から読み解く支援アプローチ』学苑社
- 宮内健 (平成30年) : 『教室の学びを支えるきく力』『指導と評価 6月号』日本図書文化協会日本教育評価研究会

- 藤永芳純 (2012) : 『いわゆる「展開後段」は必ずしもいらない』『道徳教育 1月号』明治図書出版
- 島恒生 (2012) : 『展開後段の意義を認めつつ、柔軟な展開を』『道徳教育 1月号』明治図書出版
- 永田繁雄 (2012) : 『「展開後段」の柔軟な発想で道徳授業の扉をひらく』『道徳教育 1月号』
- 菊地真貴子・廣瀬隆人 (2008) : 『教師の対話性と子どもの価値形成についての一考察—中学校道徳の授業をもとにして—』宇都宮大学教育学部 教育実践総合センター紀要 第31号
- 文部科学省 (平成22年) : 『生徒指導提要』教育図書株式会社

